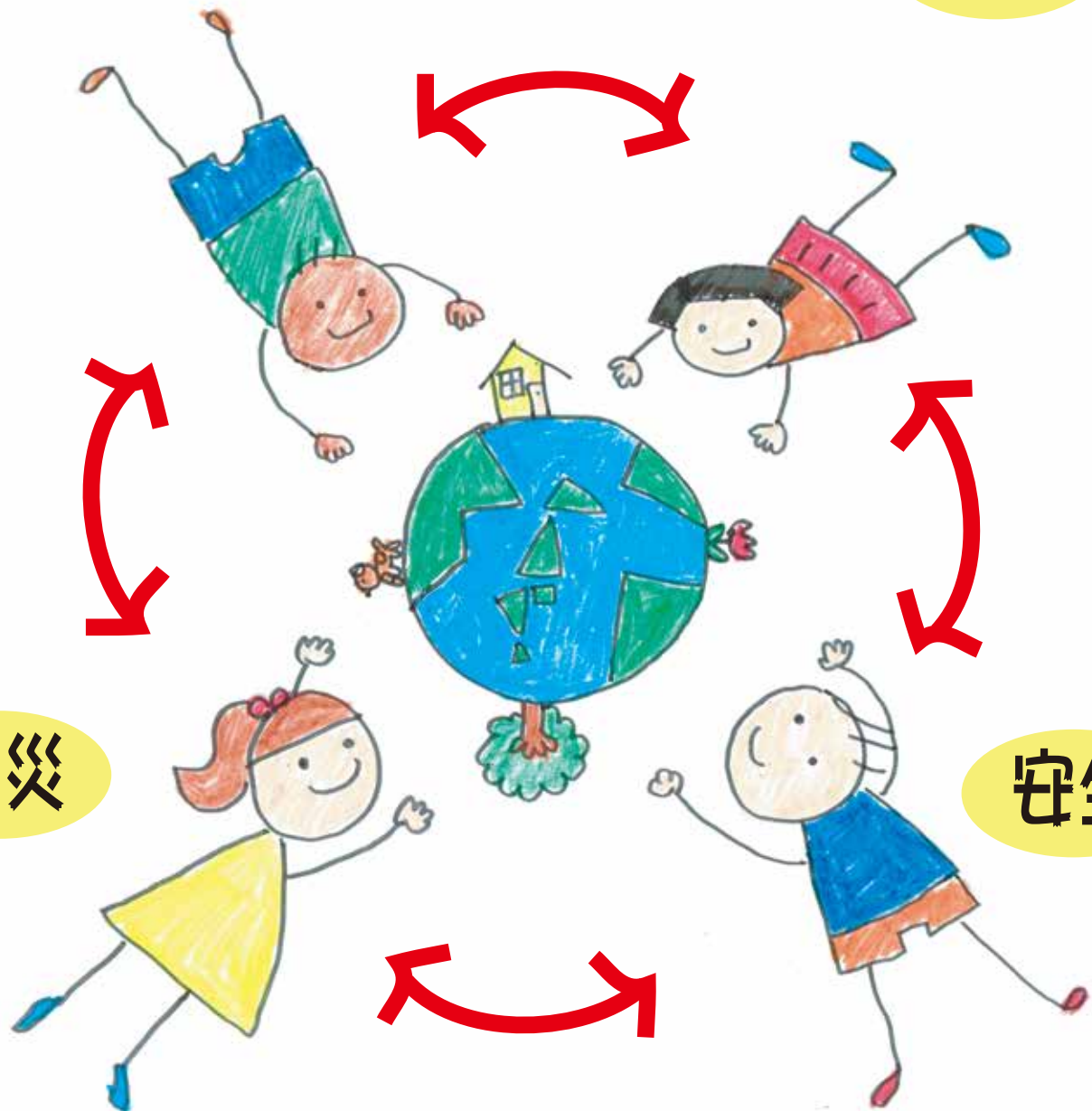


# すべてのことからは、川がつなげる!!

## 環境と安全と防災と教育

教育

環境



防災

安全

◇ 開催日:平成26年3月1日(土) 13:00~18:00

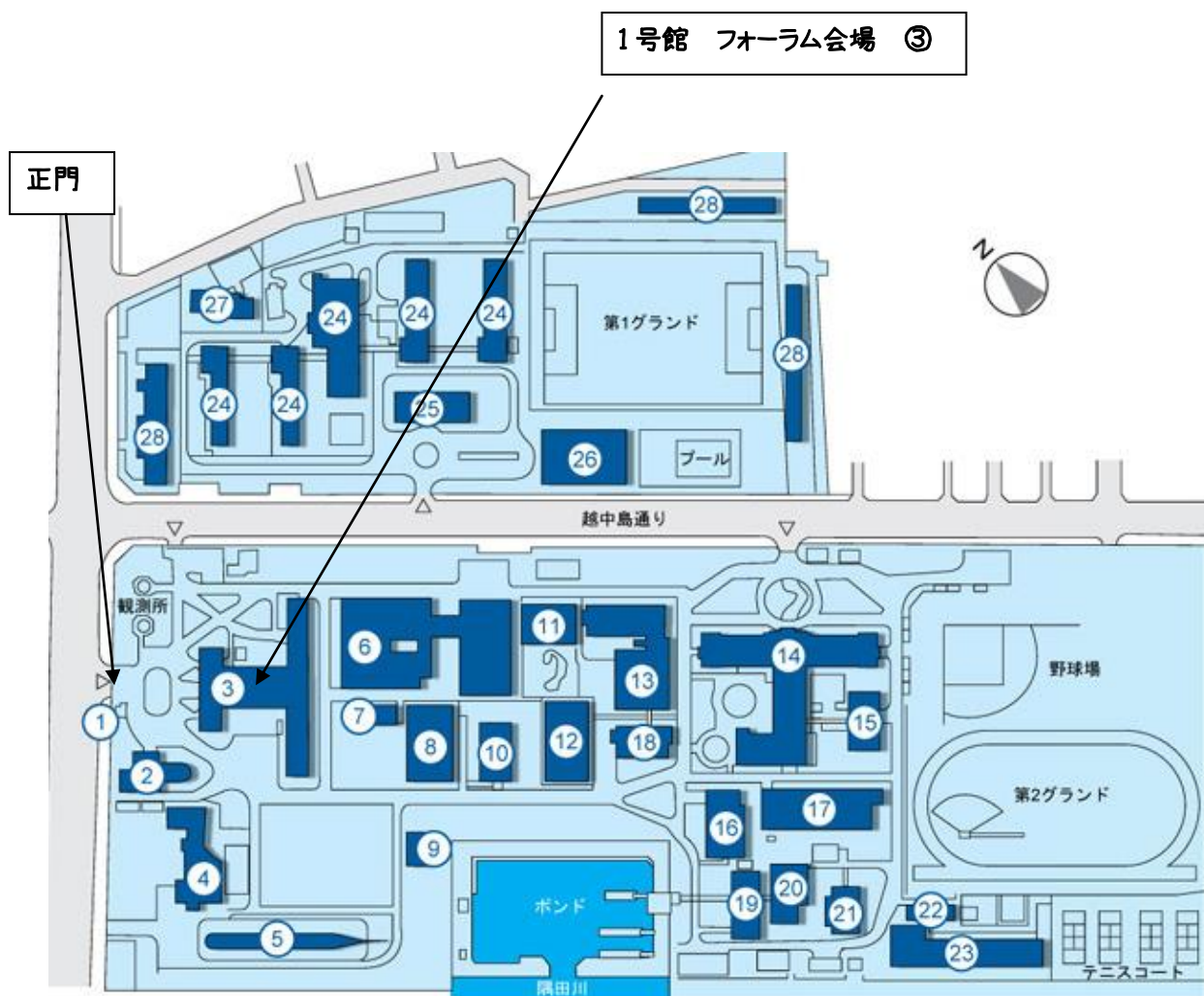
◇ 場 所:国立学校法人 東京海洋大学 越中島キャンパス

## ◇当日プログラム

3月1日(土)		会場:東京海洋大学 越中島キャンパス
12:30	受付開始	
13:00~13:10	開催挨拶・オリエンテーション ご挨拶:藤芳素生氏(RAC 副代表理事)	会場:第1号館126教室
13:10~14:10	セッション1 基調講義 『野鳥から学ぶ、持続可能な未来』 講師:安西英明氏(日本野鳥の会 主席研究員)	道ばたの虫や草花でも楽しめる季節やサバイバル戦略という見方を軸に、生物とは?自分とは?地球とは?という基本を解説、『この奇跡の惑星がいかにおもしろいか、不思議か、すごいか』を感じていただき、共存と循環というエコシステムとともに文明の素晴らしさと危うさを認識していただきたい。
14:15~15:15	セッション2 基調講演 『野外活動に必要な気象情報について』 講師:大久保 篤氏 (東京管区気象台 気象防災部 気象防災情報調整官)	自然体験活動時に必要な気象情報についての知識など、天気図の見方などを含めてお話をさせていただきます。
15:25~18:00	セッション3 分科会 Part1	会場:1号館 2階
	分科会1 《RAC 気象マスター講座(仮)カリキュラム検討》 ファシリテーター:平山康弘氏(RAC 理事)	気象防災情報調整官のお話を受けて必要な項目等を参加者全員で検討話し合います。 122 教室
	分科会2 《指導力を高める「体験学習法」》 ファシリテーター:関智子氏(シーズ・ジャパン)ほか	元PA事務局にいた関さんに「自然体験学習法」はなど、いろいろな手法を実際に体験して教えていただきます。 123 教室
	分科会3 《学校連携コーディネーター養成講座-I》 講師:金沢 緑氏(RAC 学校連携部会長)	学校と連携をして川での自然体験活動を行っていく方法などの講習を行います。 124 教室
	分科会4 《RAC水辺のファーストエイド講習-I》 ファシリテーター:大内雅司氏(ASOVI代表・北海道) :田中清也氏(九州中央山地自然学校)ほか	溺水時の CPR など水辺体験活動現場に特化したファーストエイド講習を行います。 125 教室
18:30~	交流会(費用3,500円)	会場:こだわりや(門前仲町店)
3月2日(日)		
9:00~12:00	セッション4 分科会 Part2	会場:1号館 2階
	分科会5 《防災教育プログラム・共助ネットワーク作り》 ファシリテーター :藤芳素生氏(RAC 副代表理事) 平山康弘氏(RAC 理事)	学校と地域、行政と連携して防災教育を行う。共助ネットワークの仕組み作りまで検討します。 122 教室
	分科会6 《パパ、ママ初めての川遊び教室》 講師:佐藤ともえ氏(ハーモニセンター)ほか	初めて子どもと川遊びをするときの簡単な準備や注意なども検討します。 123 教室
	分科会7 《学校連携コーディネーター養成講座-II》 講師:金沢 緑氏(RAC 学校連携部会長)	学校と連携をして川での自然体験活動を行っていく方法などの講習を行います。 124 教室
	分科会8 《RAC水辺のファーストエイド講習-II》 ファシリテーター:大内雅司氏(ASOVI代表・北海道) :田中清也氏(九州中央山地自然学校)ほか	溺水時の CPR など水辺体験活動現場に特化したファーストエイド講習を行います。 125 教室
12:00~13:00	お昼休み	123 号室
13:00~14:20	セッション4 分科会報告 ファシリテーター:田中謙次氏(環境文化研究所)	気になる他の分科会のエッセンスを共有します。
14:20~14:30	閉会として 藤芳素生氏(RAC 副代表理事)	

## ■ 会場案内

プログラム	会場
セッション1・2 基調講演・基調講義	1号館 2階 126教室
セッション3 分科会 PART1	
分科会1 RAC 気象マスター講座(仮)カリキュラム検討	1号館 2階 122教室
分科会2 指導力を高める「体験学習法」	1号館 2階 123教室
分科会3 学校連携コーディネーター養成講座(基礎課程)-I	1号館 2階 124教室
分科会4 RAC水辺のファーストエイド講習-I	1号館 2階 125教室
セッション4 分科会 PART2	
分科会5 防災教育プログラム・共助ネットワークづくり	1号館 2階 122教室
分科会6 パパ、ママ初めての川遊び教室プログラム検討	1号館 2階 123教室
分科会7 学校連携コーディネーター養成講座(基礎課程)-II	1号館 2階 124教室
分科会8 RAC水辺のファーストエイド講習-II	1号館 2階 125教室
セッション4 分科会報告	1号館 2階 126教室



■ 安西英明 日本野鳥の会 主席研究員

1959年、東京生まれ。1981年日本で初めてバードサンクチュアリ「ウトナイ湖サンクチュアリ」にチーフレンジャーとして赴任する。現在は主席研究員として、野鳥や自然観察、環境教育などをテーマに講演、ツアー講師などで全国や世界各地を巡る。貝瀬湯を担当した野鳥図鑑は30万部以上発行、NHKラジオ「季節の野鳥」は10年以上続いている。

・公益財団法人 日本野鳥の会 理事 主席研究員 ・公益社団法人 日本環境教育フォーラム 理事  
 ・NPO法人自然体験活動推進協議会理事・苫小牧観光大使・公益財団法人 日野自動車グリーンファンド 評議員  
 ・東京学芸大学 非常勤講師



■ 大久保篤 東京管区気象台 気象防災部 気象防災情報調整官

■ 平山康弘 NPO法人鶴見川流域ネットワーク

特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク理事 特定非営利活動法人 川に学ぶ体験活動協議会理事  
 よこはま川のフォーラム 事務局長 流域連携よこはま 事務局長  
 横浜市コラボレーションフォーラム実行委員会委員 実行委員長



■ 関智子 シーズジャパン

体験教育研究所シーズジャパン代表。新潟県に在住して、体験教育とアドベンチャー教育の哲学や方法論を普及するため、県内だけでなく全国に出張中。大自然、ロープコース、会議室と、人が集まるどころ全てがフィールド。努力する実践者を目指し、Kurt Hahの言葉、『困難こそチャンス(Your disability is your opportunity.)』を心に刻んで頑張っている。このフィールドには、同姓同名の方で研究者がいるようだが、まだお目にかかったことがない。



■ 金沢緑

1949年広島県生まれ。広島大学学校教育学部卒業後、広島県内の公立小学校に赴任。10年ほど育児のために教職をはなれ、ボランティア・塾講師に従事。1986年況職員採用試験を再び受け、翌年広島県立安芸群府中町立府中中学校に赴任。呉市立渡子小学校長・海田市立海田東小学校長として勤務。2010年退職2010年4月よりエリザベト音楽大学 中央教育審議会委員 広島県生活科学会会長 理数系教員養成拠点構築事業性 新委員理科教育支援兼用タスクフォース委員、ソニー科学教育研究会(SSTA)常任理事 NPO法人川に学ぶ体験活動協議会常任理事 未来の科学教育を考える会(FSTA)会長



■ 大内雅司 岩尾内ダム水源地域ビジョン推進会議 ASVO 代表

川に学ぶ体験活動協議会 理事 看護師  
 北海道カナディアンカヌークラブジュニアクラブ事務局 拓殖大学北海道短期大学保育科特別講師



■ 田中清也 NPO法人みずのとらベル隊

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 人材育成部会 副部長  
 緑川情報室 事務局 NPO法人みずのとらベル隊・九州中央山地自然学校兼職 RAC水辺のリスクマネジメント講座講師  
 RAC水辺のファーストエイド講座講師 職業訓練 かんましき自然学校 地域資源活用事業科 講師



■ 佐藤ともえ ハーモニーセンター

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 理事  
 利根川の支流、小貝川の側で馬と小動物たちと生活しています。  
 小貝川では川遊びとカヤック教室が盛んで、毎年子どもたちと真っ黒に日焼けしています！



■ 藤芳素生 八千代エンジニアリング

NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 副代表理事 NPO法人日本水フォーラム 監事  
 社団法人全国防災協会 理事 熊本大学工学部顧問 八千代エンジニアリング(株)専務取締役  
 元国土交通省近畿地方整備局長、初代子どもの水辺サポートセンター長 第一回世界子どもフォーラム事務局長



■ 田中謙次 環境文化研究所 CRO(最高研究責任者)

自然体験を通じた環境教育からスタートして11年が過ぎました。本気・やる気・人気・元気な流域を目指して楽しく活動展開中。  
 福井県越前市

